

環境と経済両立を考える

産学官のNPO発足

環境と経済を両立させられる方策を産学官一体で考えようと、NPO法人「ものづくり生命文化機構」（林正和理事長、東京都千代田区）が22日、発足した。

世界各地で地球温暖化などさまざまな環境悪化が顕在化し、その対策が急務になっているが、経済活動との両立が難しく、解決の糸口が見えない。

気候変動などの環境変化が文明の興亡に影響を与えることを明らかにしてきた安田喜憲・国際日

本文化研究センター教授が「歴史に学び、地域の枠を超えて情報交換していこう」と呼びかけ、発足することになった。

同機構は、持続可能な社会のモデル地域を選定し、地域活性化を図る「ものづくり生命・地域活性化協議会」▽森・里・海の循環づくりや資源の効率的な活用を検討する「ものづくり生命文明協議会」——などの4協議会を置いて活動していく。

問い合わせは事務局
TEL 03・35556・94
55）。 【田中泰義】